

令和7年度 社会福祉法人 あぶくま福祉会

事業報告

1. 概要

法人の基本理念である障がい者の特性を理解し、利用者の人格を尊重して社会生活への適応や自立を支援し、生活の質を高めるためのサービスの提供と地域社会で豊かな日常生活が営めるよう援助して地域福祉の推進に努めることを念頭に事業を展開した。

(1) 各事業所における障害福祉サービス状況

令和7年度、だての郷（生活介護）は、利用者の状況を踏まえ利用定員を30名から20名に変更、ほどはら授産所（就労継続支援B型）は、利用定員30名に対し35名の利用契約、グループホーム・スクラム（共同生活援助）は、利用者定員7名を満たし、各事業所とも安定した経営に努めた。

(2) 給食提供体制（業務委託継続）

通所事業所では、令和7年4月より新しい給食提供業者と業務委託契約し、継続して給食の提供を行い、食事提供加算の要件である委託先の栄養士が作成した献立、利用者の摂食状況、体重測定によるBMI測定の管理を行った。グループホームにおいては物価高騰により給食費支出が増したが、食材を有効に用いた献立編成を考え、食育栄養の観点から食事提供を行った。

(3) 法人行政監査の実施・職員研修・人権擁護

令和7年10月に所轄庁である伊達市の法人定期監査が行われた。法令に基づいた運営がされており、指摘事項はなかった。今後も法令に従った運営をすすめる。法人監査とは別に、職員による法人規則・規程に沿わない不適切な事務処理事案が生じた。今後、法令や規則・規程に沿った組織としての内部統制、コンプライアンス遵守による職員の意識改革の浸透を図るため研修等を開催する。新採用職員の外部研修をはじめ各階層別研修の受講を計画し、職員が受講した。人権擁護に関しては、苦情解決担当者職員虐待防止に関する外部研修の受講および内部研修、人権擁護委員会による虐待自己チェック実施、苦情申出はなかったが苦情解決委員会に事故報告等を行った。

(4) 業務継続計画（BCP計画）・感染症対策

令和6年度策定のBCP計画内容の見直しを行った。感染症発症の計画では、感染症対策委員会において協議し、修正及び事例に即した対応の訓練を試みた。自然災害発生の計画では、避難訓練や洪水時避難確保計画に沿った訓練を通して、振り返りにより計画内容をさらに効率的に運用できるよう今後も計画の修正を行う。

(5) 法人主催行事

利用者活動では、法人主催行事である「あぶくま祭」を今年度も開催し、一般開放を行わない形で利用者・保護者・職員による内部行事として実施した。この他、法人創立記念日に合わせたジェラートのつどいの開催や節分行事には地元の寿司店からの寿司の寄付、JAより旬の果物寄付をそれぞれ受けた。

(6) 公益的取組

広報紙・ホームページにより地域社会に情報発信を行い、町内会に活動内容をお知らせし、公益的取組みとして町内会地域活動への参加及び花苗無償提供による環境美化活動を実施するなど福祉への理解を深めることに努めた。

2. 事業

第2種社会福祉事業

- ・生活介護事業所 だての郷の運営
- ・就労継続支援B型事業所 ほどはら授産所の運営
- ・共同生活援助事業所 スクラム（グループホーム）の運営

3. 役員等

	評議員	理 事	監 事
定 数	8～12人	7～10人	2人以上
現 員	10人	8人	2人

4. 主な事業

(1) 評議員会

○開催日 令和7年6月23日

- 議案
- ・令和6年度事業報告について
 - ・令和5年度決算報告について
 - ・理事・監事の選任について

○開催日 令和7年12月22日

- 議案
- ・令和7年度補正予算（案）について

○開催日 令和8年3月23日

- 議案
- ・令和7年度補正予算（案）について
 - ・令和8年度事業計画（案）について
 - ・令和8年度予算（案）について

(2) 理事会

○開催日 令和7年6月4日

- 報告
- ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- 議案
- ・令和6年度事業報告について
 - ・令和6年度決算報告について
 - ・評議員の選任・解任委員の選任について
 - ・理事・監事候補者の推薦について
 - ・評議員候補者の推薦について
 - ・令和7年第2回評議員会（定時評議員会）の開催について

- 開催日 令和7年6月24日
議案
 - ・理事長の選定について
 - ・業務執行理事の選定について

- 開催日 令和7年12月8日
報告
 - ・理事長・業務執行理事の職務執行状況について

議案
 - ・賃金支弁職員管理規則の一部改正について
 - ・評議員の推薦について
 - ・令和7年度補正予算（案）について
 - ・令和7年第3回評議員会の開催について

- 開催日 令和8年3月9日
議案
 - ・賃金支弁職員管理規則の一部改正について
 - ・令和7年度補正予算（案）について
 - ・令和8年度事業計画（案）について
 - ・令和8年度予算（案）について
 - ・令和8年第1回評議員会の開催について

(3) 評議員の選任・解任委員会

- 開催日 令和7年6月9日
・任期满了に伴う選任について

- 開催日 令和7年12月11日
・欠員補充に伴う選任について

(4) 委員会（苦情解決委員会・感染症対策委員会）

- 1) 苦情解決委員会 ○法人委員会 令和8年1月28日（法人第三者委員）
・令和7年度事故報告及びその内容について
○外部研修 令和7年11月6日（職員）
・障がい者虐待防止に関する研修会
○内部研修 令和7年11月12日（職員）
・研修受講伝達研修会・職員虐待自己チェック実施
○職員委員会 令和8年3月26日（職員）
・職員虐待自己チェックの結果集計報告
- 2) 感染症対策委員会 ○嘱託看護師を委員に加え、概ね3ヶ月間隔で開催
・令和7年 7月 ・令和7年 9月
・令和8年 2月 ・令和8年 3月
※BCP計画（感染症発生時）の内容確認、修正
※感染症対策、嘔吐物の処理

5. 施設経営の重点項目

(1) 利用者ニーズと意思決定支援

相談支援事業所によるモニタリングや相談の実施、利用者・保護者・職員による三者面談の実施を通して、利用者個々の特性や意思決定を尊重した支援に取り組み、事業所の特徴を生かしさらにサービス向上に努めていく。

(2) 支援体制と内容

年間の利用可能日数を252日（土曜利用日を含む）とし、利用者の日中活動が、有意義なものとなるよう各事業所において利用者視点での活動内容を計画、工夫して支援を行った。利用者の利用率は、だての郷83.0%（前年度85.5%）（年度利用可能日数247日）ほどはら授産所93.5%（前年度93.6%）となった。グループホーム・スクラムでは、のべ利用人数2,160人（前年度1,916人）利用定員を満たしたことで週末も継続利用する利用者を増やす等、のべ利用人数の確保に努めた。

(3) 感染症予防・防災対策・業務継続計画

今年度も継続して感染症等の予防に努め、感染症対策委員会を開催して対応を図った。利用者、職員、家族も含めてうがい、手洗い、消毒、マスクの着用、検温等の基本的な対策を実施してきたが、だての郷において令和8年3月にインフルエンザ感染者が増加し、1週間休業を余儀なくされた。避難訓練を毎月実施し、災害から身を守る行動を繰り返し行い、業務継続計画（BCP計画）の修正等を行った。